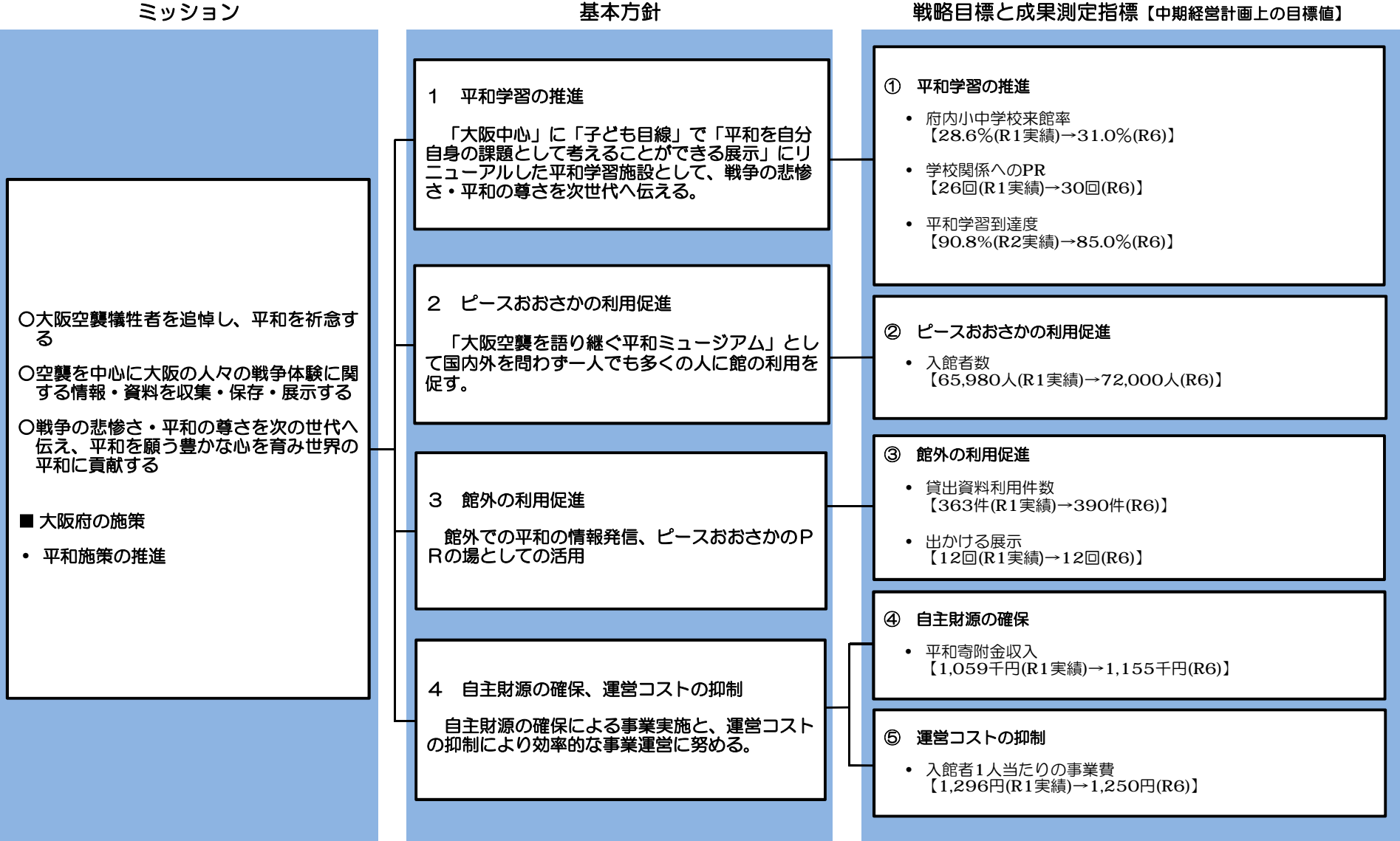


法人名	公益財団法人大阪国際平和センター
作成（所管課）	府民文化部人権局人権企画課

# ○ 経営目標設定の考え方



法人名	公益財団法人大阪国際平和センター
-----	------------------

○ 令和4年度の経営目標達成状況及び令和5年度経営目標設定表

I. 最重点目標(成果測定指標)												
戦略目標	成果測定指標	新規	単位	R4 ウエイト	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値 〔見込値〕	R5 目標値	R5 ウエイト	中期経営計画 (R2～R6)		R5目標設定の考え方 (数値の根拠) ※累積数値による目標設定の場合は、その理由も記載
										R5 目標値	最終年度 目標値	
① 平和学習の推進	府内小中学校来館率 (ピースおおさかに来館した府内公立小中学校数/府内全公立小中学校数)		%	20	16.2	16.7	27.8	29.3	20	30.7	31.0	平和学習施設としての役割を果たすという考え方で設定した中期経営計画の目標値を基礎に、今後の新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して設定。
	学校関係へのPR		回	10	23	25	25	30	10	30	30	上記目標を達成するために効果的であるという考え方で設定した中期経営計画の目標値を基礎に設定。
法人経営者の考え方(取組姿勢・決意)											戦略目標達成のための活動事項	
最重点とする理由、 経営上の位置付け	<p>○当法人は、①大阪空襲犠牲者を追悼し、平和を祈念する ②空襲を中心に大阪の人々の戦争体験に関する情報・資料の収集、保存、展示する ③戦争の悲惨さ・平和の尊さを次世代に伝え、平和を願う豊かな心を育み、世界の平和に貢献することを目的とし、平成27年4月に「大阪中心」に「子ども目線」で「平和を自分自身の課題として考えることができる展示」にリニューアルし、主に平和学習施設として運営している。</p> <p>○先の大戦を自らの体験として語れる人は少なくなる一方、平和学習施設として平和の尊さを次世代へ伝えるべく、府内小中学校へ働きかけ、1校でも多くピースおおさかを利用してもらうことを最重点目標とする。</p>											
最重点目標達成のための 組織の課題、改善点	<p>○当財団の運営費のほとんどは府市の補助金に依拠しているが、平成20年の財政再建プログラム案において「府派遣職員は必要最小限」とされ、それ以降の補助金の減額も相まって、組織体制、事業展開とも極めて厳しい状況にあり、限られた人員・資源を生かした効果的な運営が求められている。</p> <p>○府内の公立小中学校については、エリアごとによってピースおおさかへの来館率にばらつきがあり、来館率の低いエリアへの効果的な働きかけが必要である。</p> <p>○カリキュラムや業務の増加により、教員の平和学習の機会が減少しており、教員に向けた積極的なPRが必要である。</p>											
活動方針	<p>新型コロナウイルス感染症の影響に留意しつつ、学校等への働きかけを行い、府民等への平和学習機会の充実を図る。</p> <p>※新型コロナウイルスの影響 新型コロナウイルスが感染症法上の5類に位置付けされることから、行動制限による来館者の減少といった影響は少なくなる見込みである。一方で生活様式の変化に合わせ、入館制限など感染防止対策を適切に講じた上での運営が必要であることから、各項目ごとに新型コロナウイルスの影響を考慮し、目標値を以下のとおり設定する。 なお、今後の状況を踏まえ、必要な場合は、目標値を見直すこととする。</p> <p>[目標値の設定] ・新型コロナウイルスの影響がほとんど見込まれない項目については、中期経営計画の目標値を設定する。 ・引き続き新型コロナウイルスによる影響の可能性のある項目については、令和4年度の実績を踏まえ、中期経営計画との中間値、又は関連する他の項目の目標値を踏まえた値を目標とする。 ・令和4年度に目標数値が達成されなかった項目は、減少傾向にある要素の分析から、今年度も生活様式の変化による影響を受けるとみられるため、令和4年度の目標と同じ数値を目標とする。</p>											
											<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村教育委員会や校長会等におけるPRの実施</li> <li>・貸出資料や語り部の派遣等の平和学習の利用促進</li> <li>・講堂や会議室の利用の促進、教員等による平和や人権研修の誘致</li> <li>・定時映画の上映、見学ワークシートの提供、戦跡めぐりなど、教員の平和学習のサポートに取り組む</li> <li>・生活関連資料データベースを活用し、ホームページで活用できる仕組みを検討</li> <li>・戦争体験証言映像のアーカイブ化(R4年度中に映像撮影、R5年度に活用方法の検討)</li> <li>・学校の来館時期の分散化への取り組み</li> <li>・学校教員向けのアンケートによる効果的な平和学習のニーズの把握</li> </ul>	

法人名	公益財団法人大阪国際平和センター
-----	------------------

**II. 設立目的と事業内容の適合性(事業効果、業績、CS)**

戦略目標	成果測定指標	新規	単位	R4 ウエイト	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値 〔見込値〕	R5 目標値	R5 ウエイト	中期経営計画 (R2～R6)		R5目標設定の考え方 (数値の根拠) ※累積数値による目標設定の場合 は、その理由も記載	戦略目標達成のための活動事項
										R5 目標値	最終年度 目標値		
① 平和学習の推進	平和学習到達度 「ピースおおさかが平和学習の場として役立ったか」という問いに対し、「役立った」/全回答 (選択肢は、「役立った」「役立ったがもう少し工夫・改善があればなお良い」「あまり役立たなかった」「役立たなかった」)		%	10	93.4	90.0	93.2	↓90.0	10	85.0	85.0	平和学習施設としての役割を果たすという考え方で設定した中期経営計画の目標値を基に、過去の実績を踏まえて設定する。	・教員向けアンケートによる効果的な平和学習のニーズの把握
② ピースおおさかの利用促進	入館者数		人	15	35,163	35,800	59,666	65,700	15	71,800	72,000	少子化等を踏まえ設定した中期経営計画の目標値を基に、今後の新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して設定。	・企画事業の充実 ・日本平和博物館会議やユニセフ・ユネスコ等外部団体との連携 ・会議室活用の誘致 ・学校の来館時期の分散化への取り組み
③ 館外の利用促進	貸出資料利用件数		件	10	253	269	×244	269	10	387	390	館外の利用促進を図るという考え方で設定した中期経営計画の目標値を基に、今後の新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して設定。	・来館が困難な学校に向けたPRの実施 ・貸出資料を増やして対応
	出かける展示		回	10	8	9	10	11	10	12	12	館外の利用促進を図るという考え方で設定した中期経営計画の目標値を基に、今後の新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して設定。	・展示先の確保 ・展示内容の充実

**III. 健全性・採算性(財務)、コスト抑制と経営資源の有効活用・自立性の向上(効率性)**

④ 自主財源の確保	平和寄附金収入		千円	15	1,250	693	693	700	15	1,155	1,155	貴重な自主財源としての寄附金について、広く募集を呼びかけるという考え方で設定した中期経営計画の目標値を基に、今後の新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して設定。	・企画事業等での広い寄附の呼びかけ ・税の優遇措置のPRの継続
⑤ 運営コストの抑制	入館者1人当たりの事業費 (「一般会計」支出合計(事業活動支出額)/入館者数)		円	10	2,551	2,514	1,508	1,372	10	1,250	1,250	効率的な運営を図るという考え方で設定した中期経営計画の目標値を基に、今後の新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して設定。	・目標入館者数の達成 ・運営コスト抑制の取組みの継続

【凡例】

- ・☆はR5年度からの新規項目
- ・×は目標値未達成
- ・↓は前年度実績比マイナスの目標値
- ・〔 〕内の数値は、参考として記入した実績見込値
- ・( )内の数値は、当該年度の経営目標として設定していないため、参考として記入した実績値

## CS調査の実施概要

## ○令和4年度の実施結果

調査内容	実施方法	アンケート等対象者	対象者数	実施時期
平和学習到達度	アンケート（書面・小中学校教員記入）	学校行事で来館した小中学校の教員	438	通年

実施結果の主な内容	実施結果を踏まえた取組
<p>アンケートに記載の主な意見（要望・改善点など）</p> <p>①館内の構造・見学順路が分かりにくい。            ②展示の説明をしてもらいたい。            ③上映しているアニメ作品が古めかしい。            ④ホームページ等でわかりやすく情報発信してほしい。            ⑤館内外の設備等の改善を図ってほしい。            ⑥展示内容について、もっと被害と加害の両面から伝えるべきである。</p> <p>など</p>	<p>①小中学生の引率教員に対して、下見の際や見学当日に見学順路の説明を丁寧に説明するとともに、適宜必要な館内の案内表示を設置している。            ②スマートフォンを活用した展示ガイダンスアプリの利用案内を積極的に行い、利用促進を図っている。（音声ガイダンスは機器劣化により廃止）            ③新作アニメを制作し、10月から定時映画として上映を開始した。            ④ビジュアル面やわかりやすさに重点を置き、ホームページのリニューアルに着手した。            ⑤屋根防水工事や外壁撥水工事等により雨漏り等を防止するとともに（令和4～5年度事業）、当館の表示サインの塗り替えや掲示板の新設を行った。</p>

## ○令和5年度の実施方針

調査内容	実施方法	アンケート等対象者	対象者数	実施時期
平和学習到達度	アンケート（書面・小中学校教員記入）	学校行事で来館した小中学校教員	480	通年

## ・CS調査に関する令和5年度目標（再掲）【※ 成果測定指標の場合】

戦略目標	成果測定指標	単位	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値 【見込値】	R5 目標値	CS調査の数値を成果測定指標に 設定した理由及び目標値の根拠
平和学習の推進	平和学習到達度	%	93.4	90.0	93.2	90.0	<p>大阪における平和の尊さを発信し、平和学習を推進する機関として平和学習到達度は今後の運営に重要な目安となるため。</p> <p>平和学習に資する施設として、学校行事で来館した子どもによりよく平和の尊さを伝えられること。</p> <p>中期計画時点で85%としていたが、令和2年度からの2年間の実績を踏まえ、令和4年度からは毎年維持すべき目標値を「90%」としている。</p>

■ 目標値未達成の要因について

[ 1 ]

成果測定指標	単位	R 4 年度目標値	R 4 年度実績値	目標値との差
貸出資料利用件数	件	269	244	△ 25

未達成の要因				要因分析（要因と考える根拠）						要因分析を踏まえた今後の対応
①	新型コロナウイルスの影響による学習形態の変化			新型コロナウイルスの影響から学校現場においてタブレット端末が急速に普及し、これによる学習が推進されるなど学習形態が変化したことにより、DVDや紙芝居などの貸出資料を活用し、多くの人々を集めて資料展示・鑑賞する従来の集成型学習の機会が減少したと想定される。						学校への来館促進PR時に貸出資料の利用についても案内するとともに、見学の下見に来館した教員にチラシを配布し案内する。また、貸出資料用ポスターの館内外への掲示を行う。
	関連項目名	貸出資料	単位	件	R4当初想定値	269	R4実績値	244	差	
②										
	関連項目名		単位		R4当初想定値		R4実績値		差	
③										
	関連項目名		単位		R4当初想定値		R4実績値		差	

■ 令和4年度実績比 マイナス（現状維持）目標の考え方について

〔1〕

成果測定指標	単位	R4年度の実績値〔見込値〕	R5年度の目標値
平和学習到達度	%	93.2	90.0

<b>マイナス （現状維持） 目標の考え方</b>	<p>本指標は、令和2年度から策定した中期経営計画において新たに設定した目標項目（毎年<b>85%</b>以上を維持）であり、2年間の実績を踏まえ、令和4年度からは毎年維持すべき目標値を「<b>90%</b>」としている。</p> <p>なお、平和学習到達度は、来館のあった小中学校の代表教員に対するアンケートにより算出しており、リアルな実物展示や映像、定時映画の上映、ワークシートの提供等で概ね高評価を受けている。しかしながら、アンケートによるニーズに出来る限りの対応はしつつも、展示内容についての様々な考え方、施設面の制約等での限界もあり、年度毎により実績値は変動するものであるため、現状維持の目標とする。</p>
-----------------------------------	---

〔2〕

成果測定指標	単位	R4年度の実績値〔見込値〕	R5年度の目標値
/			

<b>マイナス （現状維持） 目標の考え方</b>	/
-----------------------------------	---